

## 2025 年度

### ニチイキッズたひ東保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026 年 1 月 23 日（金）～1 月 28 日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月27日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念・保育方針を全スタッフで話し合い、子どもにとって最善の利益を意識するようにした。一人ひとりの子どもの発達を促すための関わりをどうするべきかを担任と話し合い、子どもが安心して過ごせる居心地の良い保育園作りをしている。
子どもの発達援助	保育に対する話し合いの機会を取り、子ども主体の保育を心がけ、個々の発達についてスタッフの情報共有する環境を整えた。また、1 か月ごとの振り返りを行うことで次月に生かせるようにした。
保護者に対する支援	保護者が安心して仕事ができるように、連絡帳とお迎え時に今日あった出来事を丁寧にお伝えするようにした。しかし、個人情報の取り扱いについて反省することもあり、スタッフを指導し改善されている状態である。
保育を支える組織的基盤	キャリアアップ研修や安全に関する研修に参加し、保育の質の向上に努めてきた。振り返りミーティングや問題がある場合は、緊急ミーティングを実施し、スタッフの質の向上と保育士間のコミュニケーションを図る時間を目指した。

総評
前半は、保育士の入れ替わりが多くあり、子ども達も落ち着かない様子や行動が見られていた。後半、新しい保育士が入社したことで、固定された落ち着きのある人的保育環境となり、子どもの生活・遊びが安定してきた。一方、保育士間のコミュニケーションや「報・連・相」が行き届かないこともあったが、何度も問題点を話し合うことで、改善されて伝達がスムーズになってきたと感じる。スタッフが個々に自分の課題達成のため、振り返りを行うことで保育園の土台づくりができつつある。これからも、全スタッフの共通理解のもと、何度も何度も繰り返し話し合いを重ねていき、2026 年度に向けて保護者とのコミュニケーションを図りながら『子どもの最善の利益（子どもにとって最も良いこと）』を考えていきたい。